

ふるさとの風土で育む人づくり・まちづくり



栃木市

教育委員会だより



発行責任者：栃木市教育委員会

委員長 後藤 正人

住 所：栃木市万町9-25

電 話：0282-21-2461

FAX：0282-21-2689

Email：kyoumu@city.tochigi.lg.jp



先人の知恵～囲炉裏～

委員長 後藤 正人

栃木市内には、三百年以上を経過した建物を含めて百年以上の古民家等が82棟もあり、それぞれが国指定重要文化財、県指定文化財、国登録文化財になっています。これらは、先人の生活様式と知恵が染み込んでいます。

私の育った山形では、毎日のように土間にある「囲炉裏」に火をおこし、鉄鍋の水を温めることから一日が始まります。

囲炉裏の煙が屋根の梁や茅葺き屋根などに直接当たることによって、湿気や虫の害から守っています。白い煙が外からの日差しを受けながら、天井のない太い梁に直接当たっている光景は目に焼き付いています。今の家屋構造では、なかなか見ることのできない景色です。燃料は、かまどと異なり、火力よりも火持ちのよさを重視したために、近くの山で集めた薪を使って火をおこしました。スギは一気に燃えて持続力がないので薪ストーブには向きませんが、囲炉裏であれば、火力調節ができる便利な燃料なのです。

農作業が終わる夕刻になると、囲炉裏の周りには、おじいちゃん・おばあちゃん・お父さんの順に家族が集まります。着座場所は昔から不動であり、家族内の序列・秩序を再確認する場所でもあります。子どもは、囲炉裏の火に直接当たることはできませんが、指定席にどかんと座り、赤銅色に染まつたおじいちゃんの顔がまるで神様のように見え、憧れた幼少の頃を思い出します。赤く燃えている薪は、おじいちゃんが火箸を巧みに使つて灰をかぶせながら上手に火加減をします。灰になつていらない薪は「おき」と言つて「消し壺」に入れます。そうすることによつて、煙突ができ、火鉢・あんか・こたつなどで再び使うことができるのです。

囲炉裏は広い部屋を安全に照らしてくれる照明として、

また、極寒の冬には暖房の役も果たしてくれます。火棚を組めば、衣類・食料（ヒエ・アワ・川魚）・生木などを乾燥することもできます。さらに、囲炉裏の火力を調整するために、筒の中に通した鉄や木の鉤の位置をずらすことによって、高さを上下自由に変えられる「自在鉤」が天井から吊されています。鉄鍋を支えている棒の上には必ず魚の形をした铸物が吊してあります。夜も寝ないで泳ぐ魚の習性にちなんで火災が起ころないうように夜の間、しっかりと見守つてほしいという先人の願いが「魚」に込められています。幼少の頃、父に教えてもらいました。長い間にたまつた囲炉裏の灰は、ほうれん草や筍など野菜のアク抜きや歯磨き粉にも使つたりしました。また、鉄製の器具などの「磨き粉」としても重宝しました。童話「猿蟹合戦」で栗が囲炉裏の火中に入り、火力で弾けた栗が猿を直撃し、火傷を負わせる場面があります。これは、かつて囲炉裏の灰に栗や餅、山菜などを埋めて焼き、食べていた習慣から時折起きる事故をエピソードにしたものだと母から聞きました。

このように古民家に必ずあつた囲炉裏には、炊事専門のかまどや火鉢とともに、日本の伝統家屋の「火の座」を構成すると同時に、昔の人の生活の知恵とエコの精神が凝縮しています。どんなに時代が変わり、生活様式が近代化しても、こうした先人からの知恵や精神を現代の生活中に生かす場面は多くあります。したがつて、古民家を本市の宝として後世に残していくことは、ハード面・ソフト面からも大きな意義と価値があると考えます。

本市の学校教育においても多くの学習を通して様々な知識や能力・態度を身に付けます。その知識が生涯にわたつて生き抜く上で役立つ「知恵」になつてほしいと願うばかりです。



教育委員会って何？(3)

教育委員会ってどんな活動をしているの？



Q 教育委員会の点検評価ってどんなことをしているの。

A 5月20日、6月17日、6月24日の3回にわたりて点検評価委員会を開催し、学識経験者など外部の方の意見を聴取しました。いだいたご意見をもとに、7月27日の教育委員会で総合的な評価を行いました。

点検評価の趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に基づき、教育委員会は、毎年、教育行政事務の管理執行状況について自己点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することとなっています。



点検評価委員会の様子

点検評価の対象

点検評価の対象は、教育委員会の活動及び栃木市教育計画に基づき展開された各種事業です。

点検評価委員会の開催

平成26年度に実施された教育委員会の各事業について、点検評価委員会を開催し（5月20日、6月17日、6月24日の3回）委員より意見を聴取しました。

教育委員会の評価

点検評価委員の意見を踏まえ、教育委員会において総合的な評価を実施しました。

点検評価の報告及び公表

点検評価の報告書を議会に提出し、市ホームページで公開しています。ご覧ください。

とびつくす（総合教育会議が開催されました）

平成27年4月から「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部を改正する法律が施行されました。改正法では、すべての地方公共団体に「総合教育会議」を設けることとなっています。

栃木市においても市長と教育委員会が、本市教育の課題やあるべき姿を共有し相互に連携を図りながら効果的に教育行政を推進していくため、「総合教育会議」を設置しました。

総合教育会議は、市長と教育委員会で構成され、教育行政の大綱の策定、教育の条件整備など重点的に講ずべき施策や児童・生徒等の生命・身体の保護等緊急の場合に講ずべき措置についての協議・調整を行います。

栃木市では、さる6月29日（月）に栃木市役所において第1回目の「総合教育会議」が開催され、今後の総合教育会議の運営や大綱の策定などについて話し合われました。



総合教育会議の様子

※定例教育委員会は、公開を原則としており、市ホームページや“広報とちぎ”で、日程をお知らせしています。一度見学してみませんか。なお、議案・報告事項によって（人事に関することや、個人に関する情報等）は、非公開となる場合があります。

教育委員の声!!

教育委員の活動は、毎月の定例教育委員会をはじめ、様々な教育委員会の事務事業の点検評価や学校訪問など多岐にわたっています。ここでは、教育委員の“生の声”をご紹介いたします。



筑比地幸子委員

午後の一時、我が家の前を小さなざわめきが通り過ぎます。小鳥の轟りを思わせる小学生の声に大人の声も交じっています。ライトグリーンのベストを身に付けた登下校ボランティアの人達です。また、毎年夏休み前に、和布で包んだ貝やクラフトテープで編んだ小籠、ハーブ入りの匂い袋など「愛の鈴」と呼ばれるメッセージと鈴付の手作り飾りが中学生に配られます。こちらは更生保護女性会の活動の一環です。どちらも込められた願いは子ども達の健やかな育ち。

人々の温かな思いを感じ、感謝する心を忘れない人でありたいと思います。

夏も終わり、息子とその同級生たちが受験シーズンを迎える。今は少し不安げな表情の彼らが、桜の花の咲く頃には満面の笑みとなることを心から願う。それにしても、ついこの間まで小さな子どもだと思っていた彼らが、自我に芽生え、反抗期になりそれが少し小憎らしいときもあるが、今、たった一人で人生の一大事に向かい合っている。親の知らぬ間に子は確実に何かを超えて、日々逞しくなっているのだ。

受験は心身ともにきつい。だからこそ、「宝」になる。頑張れ。あきらめるな。きっと君たちに風は吹く。



福島鉄典委員



若林由美子委員

最近運動会を春に行う学校が増えてきたようです。今年度は小学校14校、中学校5校が5月、6月に運動会を実施しました。私は6月13日に都賀中に伺いました。梅雨の時期にもかかわらずお天気に恵まれて、子どもたちの日頃の行いのおかげかなと思いました。

1学期は家庭訪問、修学旅行、マイチャレンジ、部活動の大会等たくさんの行事があり、運動会を実施するのは大変なことと思いましたが、この時期に行なうことが熱中症対策になるのかもしれませんね。生徒たちはみんな力いっぱい競技をしていて、大変見えたえのある運動会を見せていただき、ありがとうございました。



荒川律委員

夏の甲子園。今年もたくさん感動をもらいました。汗と涙、一緒に流せるのは青春時代だけかもしれません。

最近、近所の公園から聞こえてくるのはサッカーボールを蹴る音です。野球派の私としては残念の一言です。学生時代野球部だったお父さん。押し入れにグラブ眠っていませんか。近所の子ども達とキャッチボールをやってみませんか。子どもの顔が見えてきますよ。ぜひ、地域力アップのためにもお願いしたいです。



林慶仁委員

「きっと、大喜びで親に報告すると思いますよ。」自分がふと彼に投げかけた評価が、その子にとって、それほど重大事だったとは。「大規模校だとほめられる機会も少ないのです……。」

真珠貝は宝石を作るために、石を入れられるのだそうですが、小学生にとって入れられる小石は、丸い方がいい、育て易いほうがいい、一体彼は将来どんな結晶を育てるのだろう、いやはや先生は責任重い職業だ、など思いながら訪問校の去り際、お見送りいただいた担任の先生の目を見つめました。

栃木市の教育の方向

栃木市教育計画(5)

児童・生徒指導の充実

～スクールソーシャルワーカーの配置～

市では、平成26年度から様々な問題に直面している子どもをサポートするスクールソーシャルワーカー（以下SSW）を学校教育課に配置しました。



児童生徒支援チームでの組織的対応

SSWは、子どもの心に寄り添い、子どもを取り囲む環境などにも注目し、問題解決の道筋をつけるために家庭や関係機関、学校とつなぎ、環境の改善に働きかけます。

学校教育課「児童生徒支援チーム」では、学校からの支援要請に対して、SSWを派遣し、保護者の支援や関係機関との連携など、多面的な支援を行っています。

教育長のひとこと

栃木市定例校長会（6月）での話から（抜粋）



‘衣替え’の6月…なのだが、先月からクールビズが始まり、気象予報士の皆さんも毎朝「アツイ、アツイ」を連呼していて、気分は既に「梅雨」を飛び越え、真夏の真ん中にいるような感じである。

とは言え、今は、運動会に修学旅行がたけなわの、学校が一番‘学校らしく’動ける季節である。新年度の様々な‘心機一転’にも慣れ、一人一人それぞれの良さを存分に發揮して、〈天を目指して〉ぐんぐん伸びる時。どうぞ〈土の下でしっかりと手を握り合って〉一人一人に実りある‘耕し’を。大いに期待したい。

そして今は『慣れても、狎れるな！』の時もある。いつもこの時期に登場してくる言葉だが、学校生活のいろいろな所で思わず‘綻び’が出始める頃。で、この『慣れても、狎れるな！』を昨年度と同様、今月の指示事項の第一に掲げた。悪しからず。

立心偏の‘なれ’と獸偏の‘なれ’。その違いは‘慣れ’と‘狎れ’。文字通り一目瞭然なのだが、気を引き締めて、意識・感覚を研ぎ澄ましていないと、「なれ」と‘なれ’なかなか見分けが付きにくい。注釈〈※1,2〉の部分を参考に、各校ともよく共通理解を図って、優れた対応をしていただきたい。

教育長 赤堀 明弘

※1 「慣れ」が‘狎れ’に、‘立心偏’が‘獸偏’に変貌すると、子どもたちは勿論、大人も生活規律や人間関係に様々な亀裂を生じ、トラブルや事故（いじめや暴力行為etc.）が起こり易くなる。教職員の不祥事（体罰や暴言etc.）も精神的に熱くなるこの時期が要注意である。

※2 〈なれる〉… 【慣れ】何度も経験して、緊張したり失敗したりすることがなくなる。
… 【狎れる】親しくなりすぎて、守るべき礼儀をつい忘れた態度をとる。

【編集後記】

“教育委員会だより 紋”の発行により、市民の皆様に教育委員会の役割や活動内容をお知らせし、いっそうの開かれた教育委員会を目指します。

※ご意見・ご感想はこちらまでお寄せください。

栃木市教育委員会教育総務課 〒328-8686 栃木市万町9-25 電話：0282-21-2461
FAX：0282-21-2689 Email：kyoumu@city.tochigi.lg.jp